

【算数】

＜学習内容＞

◆「2つに分けられるかな？」（教科書P7～9）

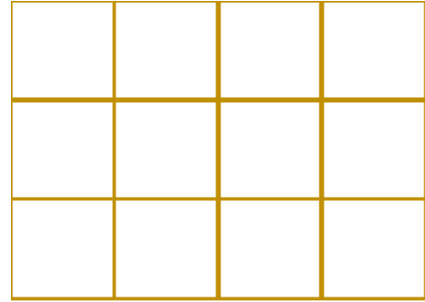
(1) 長方形をマス目に沿って切り、
2つに分けてみよう。

(2) 分け方は何種類あるか考えてみ
よう。

(3) 同じ面積（4年の復習）になるように、2つに分けてみよう。

(4) 同じ形（5年合同の学習につながる）になるように、2つ
に分けてみよう。

(5) 全種類見付けるための方法を考えてみよう。



＜保護者による関わり方のポイント＞

(1) →取組シートのマスを利用して、実際に切って2つに分けさせます。

※分かる活動が、子どもの気づきを促すことにつながります。

算数の授業開きのスライドを新設

学年の授業開きに用いるスライドでは以下の三つを大切にしています。

- ① 「今年の算数は楽しみだな」と子どもの期待を高めること。
- ② 算数の学習を進める上で大切なことを伝えること。
- ③ 学習を進めるとき約束事を学年で共有すること。

学級づくりは、4月から始まります。新設した算数開きのスライドを活用し、課題を探究する学びを楽しみながら、【学習の進め方】を共有します。

自分の立場を明確にする場を設定することで、子どもは主体的に問題を考える習慣を身に付けていきます。「ジャンケンマーク」の選択肢を主体的な言葉に変更したことで、子どもの意欲を高めるとともに、算数を使って解決するよさを伝えることを目指します。

「子どもの疑問や課題」から学習を始め、問題に取り組みながら、「学びを深める疑問や課題」に焦点化する【学習の進め方】を大切にします。

一番簡単な分け方をペアで予想しよう！

どのように考えると、全部の分け方を見つけられましたか。
グループで話し合ってみましょう。

1時間の学びの過程を振り返り、子どもから「新たな課題や疑問」＝「だったら…」などの言葉を引き出します。自分で新たな疑問や課題を積極的に見付け出す力へ高めていくことを目指していきます。

どうするといろんな分け方が見つけられるかな？
やってみよう!!

全部で何種類の分け方があるのかな？

新たに設けられた「ペア」や「グループ」で話し合うことで、子ども一人一人の表現する時間が増え、論理的思考力を高めることをねらいます。

次にやってみようことを発表しよう。
まず目の数を増やしても、同じように考えてできるかな？

(3) (4) →面積や図形の合同など、視点を変えて「分ける」という活動に取り組ませます。

※複数の視点で問題を捉えることは、算数で大切にしたい「結び付けて考える」

（教科書P6）につながります。

(5) →全種類見付けるためには場合分けして、順序よく考える必要があります。

※論理的に考える力を育むことにつながります。